

世界自然遺産・知床の森は、民有林というコートによって守られています。私たちのプロジェクトは、知床の民有林経営をJ-VERによって活性化することで森林の荒廃を防ぎ、これによって知床世界自然遺産の保全、知床地域全体の低炭素化をすすめるものです。

プロジェクトの実施場所	北海道斜里町
吸収量(予測)	年間 606t-CO2
在庫量	—
クレジットの次回発行予定	2012年10月
1t-CO2あたりの希望単価	—

世界自然遺産の森と地続きになった民有林の荒廃は、自然遺産にも影響を及ぼしかねません。知床半島の民有林の多くは、開拓時代以来このまちに住む地域住民の所有するものですが、その森林経営は厳しく、多くが身銭を切って森を維持しているのが実情で、厳しさのあまり森林放棄などの例も少なくありません。

こうした中、森林経営の活性によって知床の森を守りたいと、知床の森林所有者自らが立ち上がりました。現在、ほとんどのJ-VERプロジェクトが市町村林、企業林のプロジェクトになっている中で、知床在住の森林所有者有志が集まり、組織した唯一の森林オーナーによるプロジェクトです。J-VERを通して広く都市との交流を求めています。



■担当者連絡先 常務理事 森浩義 tel:011-378-0128(エディアワーク内) Mail:npo@sunnysideok.org